

令和7年度

博士前期課程

7月実施（推薦入学試験）

人文学学位プログラム 歴史・人類学サブプログラム

区分	出題意図または解答例
小論文 問題Ⅰ	
〔1〕【英語】	（1）歴史学・人類学に関する英語文献を的確に読解したうえで、その内容を簡潔かつ論理的に説明する能力を問う。 （2）上記文献の内容を批判的に検討したうえで、自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。
〔2〕【日本語】	（1）歴史学・人類学に関する日本語文献を的確に読解したうえで、指定された論点の要旨を論理的に説明する能力を問う。 （2）上記文献の内容を批判的に検討したうえで、専門分野の知見に基づき、自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。
〔3〕【ドイツ語】	（1）歴史学・人類学に関するドイツ語文献を的確に読解したうえで、その内容を簡潔かつ論理的に説明する能力を問う。 （2）上記文献の内容を批判的に検討したうえで、自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。
〔4〕【中国語】	（1）歴史学・人類学に関する中国語文献を的確に読解する能力を問う。 （2）上記文献の筆者の主張を整理し、それを批判的に検討したうえで自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。
問題Ⅱ	
〔1〕【日本史学】	（1）日本近世の時期区分に関する出題である。出題の英文の内容を、固有の歴史用語も含めて的確に理解し、著者の議論に即して要約できる能力が求められる。 （2）上記の問題文の議論を正確にとらえた上で、各人が日本近世の特徴について学んできたことを論述させる問題である。先行研究にあたる文章を批判的に読解し議論を構築していく能力と共に、日本史全体の流れや時代ごとの特徴についても、一定水準の理解が求められる。

〔２〕【東洋史学】	<p>[日本語]</p> <p>(一) 歴史学に関する日本語文献を的確に読解したうえで、指定された論点について論理的に説明する能力を問う。</p> <p>(二) 上記文献の内容を踏まえて、東洋史学の可能性に関して自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。</p> <p>[中国語]</p> <p>(１) 歴史学に関する中国語文献を的確に読解したうえで、指定された論点について論理的に説明する能力を問う。</p> <p>(２) 上記文献の内容を踏まえて、史料の利用に関して自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。</p>
〔３〕【西洋史学】	<p>(１) 博物館の考古学資料に関するドイツ語文献を的確に読解したうえで論理的な文章として表現する能力を問う。</p> <p>(２) 上記文献の内容に対して専門的な知見を活かして批判的な検討を加えたうえで、自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。</p>
〔４〕【歴史地理学】	<p>(１) 歴史地理学に関する英語の専門文献を的確に読解したうえで、史料に関する知識を論理的な文章として表現する能力を問う。</p> <p>(２) 歴史地理学に関する研究課題について、的確な史料と手法を用いて計画し、論理的な文章として表現する能力を問う。</p>
〔５〕【先史学・考古学】	<p>(１) 考古学の基礎的な知識に関する英語文献を的確に読解したうえで、簡潔で論理的な文章として要約する能力を問う。</p> <p>(２) 英語文献の内容に対して、広い視野に立った専門的知見にもとづいた理解をもとに、先行研究への批判も含め、的確な批評を文章化する能力を問う。</p>
〔６〕【民俗学】	<p>(１) 民俗学に関する英語文献の論旨を、キーワードに即して表現する能力を問う。</p> <p>(２) 英語文献の内容を要約、かつ、専門的な知見を活かしながら批判的に検討し、自身の考えを、論理的な文章として表現する能力を問う。</p>
〔７〕【文化人類学】	<p>(１) 文化人類学に関する英語文献を的確に読解したうえで、論理的な文章として表現する能力を問う。</p>

	<p>(2) 英語文献の内容に対して専門的な知見を活かして検討を加えたうえで、文化人類学の研究手法への理解に基づき自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。</p> <p>以上</p>
--	--